

平成26年度 特別会計予算

●取手駅西口都市整備事業
特別会計予算：可決

〔討論〕

入江議員：予算は都市基盤整備と土地利用を並行して進めるために必要不可欠なもの。今まで以上にスピードを増して事業を進めていく必要がある。賛成。

加増議員：ウエルネス・タウン構想を優先して基盤整備を遅らせてきた。西口に巨額の税金を投入するよりも市民が望む身近な基盤整備こそ優先すべき。反対。

●国民健康保険事業特別会計予算：可決

〔討論〕

遠山議員：国の社会保障制度改革プログラムに合わせ、市は保険税の上限引き上げを考えていることが明らかになった。暮らしを逼迫させるのは明らか。反対。

●後期高齢者医療特別会計予算：可決

〔討論〕

遠山議員：国の緩和策は期限付きで、今後負担増となるのは明らか。また中止を求めている短期保険証の発行も増えており問題。反対。

特別会計名	予算総額
取手駅西口都市整備事業	15億7,727万円
用地先行取得事業	1億1,688万円
国民健康保険事業	121億8,816万円
後期高齢者医療	19億5,143万円
介護保険	67億7,047万円
介護サービス	1,954万円
競輪事業	13億4,942万円
取手地方公平委員会	77万円

●介護保険特別会計予算
●介護サービス特別会計予算：いずれも可決

〔討論〕

遠山議員：国が示すようなサービス面での切り捨ては行わず、誰もが安心して老後を過ごすことができる施策、手厚い介護保険が求められる。国に改善を求めるべき。いずれも反対。

●競輪事業特別会計予算：可決

〔討論〕

遠山議員：中心市街地の一等地で公営ギャンブルをいつまで続けるのか。廃止に向け、従事員の退職金、違約金のための基金の増額を県に求めるべき。反対。

平成26年度予算を除く 市長提出議案

●平成25年度取手駅西口都市整備事業特別会計補正予算（第4号）：可決

〔主な内容〕

・取手駅北土地画整理事業経費、歩行者デッキ整備経費、自転車駐車場整備事業経費の減額。
・取手駅北土地画整理事業経費の翌年度繰り越し。

〔補正予算額〕

3779万4000円の減

加増議員：生活に根差した公共事業や税金の使い方に改め、皆に優しいまちづくりを進めてこそ、市民が大事にされていると実感できるのではないかと。反対。

●取手駅西口歩行者経路の設置及び管理に関する条例：可決

〔主な内容〕

・吉田小、戸頭東小、藤代小、取手一中の増築、耐震補強、大規模改造工事等。
・除染対象施設、面積減少による放射能対策経費の減額。

〔補正予算額〕

7億8430万7000円

遠山議員：学校施設の耐震補強、大規模改造など、子どもたちの安全安心につながる予算。また、藤代小学校舎トイレ改修工事費の計上を評価する。賛成。

加増議員：市民不在の駅前開発。歩行者デッキ建設に疑問を持つ市民の声がさらに広がっていくのではないかと。反対。

結城議員：歩行者デッキについてはいろいろな観点から



改修が決まった藤代小のトイレ



4月に開通した取手駅西口歩行者デッキ

●市営住宅条例の一部改正：可決

・生活を共にする交際相手から暴力を受けた被害者について、市営住宅の入居要件、優先選考要件を緩和するもの。

・下沼住宅（井野）の廃止。

阿部議員：今年1月の配偶者暴力防止法改正に合わせ、改正を評価。今後は近隣自治体との連携をもって進めていただきたい。賛成。

●新市まちづくり計画の変更：可決

合併特例債の発行期限10年延長の特例（東日本大震災被災地に限る。その他は5年延長）を受け、平成26年度で終了する新市まちづくり計画（※）の期間を10年延長し、さらに所要の補正を行うもの。

〔討論〕

加増議員：特例債事業の計画がない財政計画は机上の空論。特例債という借金をするための手続にすぎない。極めて乱暴。反対。

齋藤議員：財政計画で今後の扶助費の増大が明らかに、理由と効果を明確にして、取手の安定的発展を目指していただきたい。賛成。

池田議員：特例債はウエルネスプラザに使われたが、防災、道路改良、雨水排水等にも使われた。借金ではあるが、必要な事業に使うのは仕方ない。賛成。

※合併特例債と新市まちづくり計画の関係：合併特例債は、合併時に策定される新市町村建設計画（取手市では新市まちづくり計画）に記載された事業に充てることができるとされているため、発行期限延長の特例を受けるためには、新市まちづくり計画の期間延長が必要となります。